

PALTEK

(JASDAQ:7587)

2014年12月期 決算説明会

2015.2.12 (木)

FY2014 Results Reporting

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

アジェンダ

- ① 2014年12月期 業績結果**
- ② 2015年12月期 業績予想**
- ③ 今後に向けた取り組み**

1

2014年12月期 業績結果

連結業績結果

(百万円)	2013年		2014年		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	17,611	100.0%	23,155	100.0%	5,544	31.5%
売上総利益	3,187	18.1%	3,713	16.0%	525	16.5%
販管費	2,415	13.7%	2,704	11.7%	289	12.0%
営業利益	772	4.4%	1,008	4.4%	235	30.5%
経常利益	782	4.4%	1,052	4.5%	270	34.6%
当期純利益	443	2.5%	563	2.4%	119	26.9%
1株当たり当期純利益	38.86円	—	49.31円	—	10.45円	26.9%

主な増減要因

- 売上高は、半導体事業が大幅に増加
- 営業利益は、売上高が増加したこと、円安進行により仕入値引ドル建債権の評価額が増加したこと等により増加

(百万円)	2013年		2014年		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
半 導 体	16,434	93.3%	21,898	94.6%	5,463	33.2%
デ ザ イ ン ス サ ー ビ ス	1,095	6.2%	1,118	4.8%	22	2.1%
そ の 他	81	0.5%	139	0.6%	57	71.5%
売 上 高 合 計	17,611	100.0%	23,155	100.0%	5,544	31.5%

主な増減要因

- 半導体事業は、オフィス機器、計測機器、ファクトリーオートメーション等の産業機器向け、通信インフラ向けが大幅に増加

■ 売上総利益率の低下は、以下の2つが要因

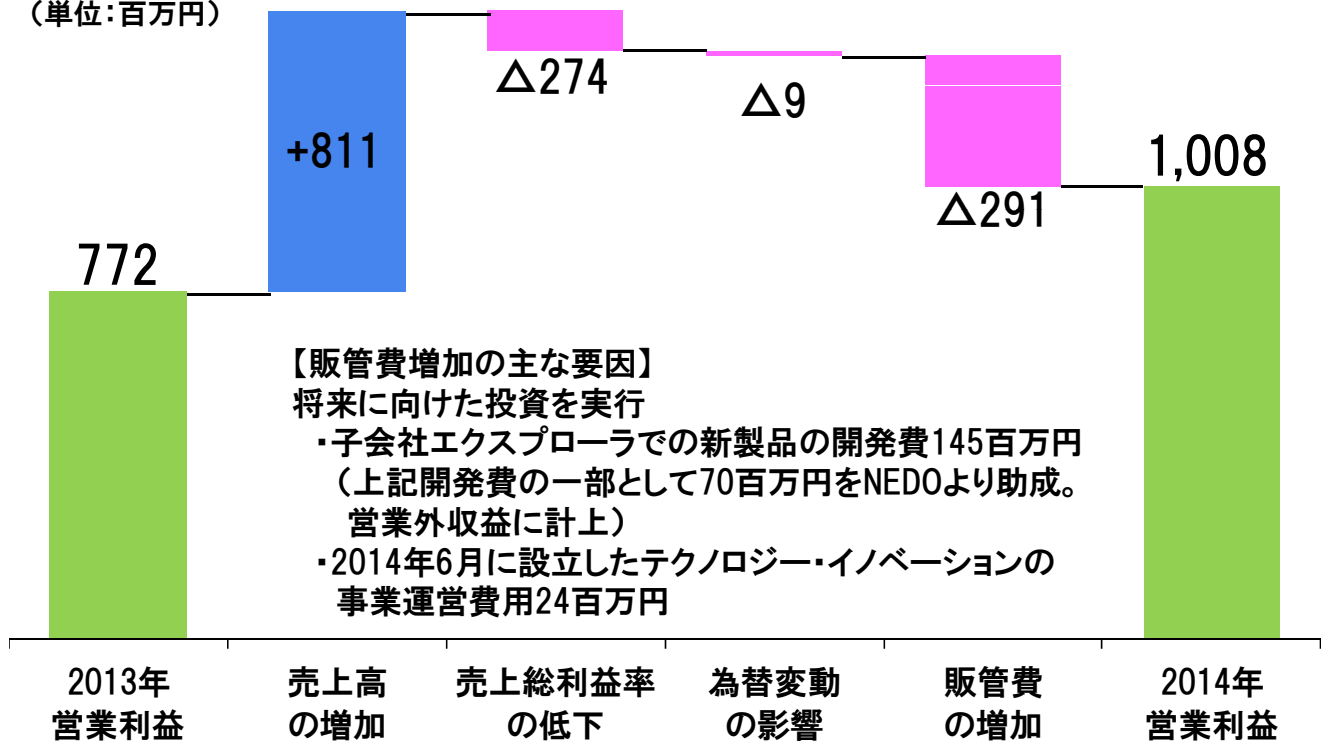
- ・ 半導体事業において、売上総利益率の低い案件の売上高が増加
- ・ ドル円相場により変動する仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額の増減が、2013年では+336百万円(1.9%分)であったが、2014年では+327百万円(1.4%分)となったこと

(※仕入値引ドル建債権の説明は、本資料の参考資料に記載)

(百万円)	2013年		2014年	
	金額	対売上比率	金額	対売上比率
売 上 総 利 益	3,187	18.1%	3,713	16.0%
(うち為替の影響額)	336	1.9%	327	1.4%
売 上 総 利 益 (為替の影響を排除)	2,851	16.2%	3,386	14.6%

営業利益の増減分析

(単位:百万円)

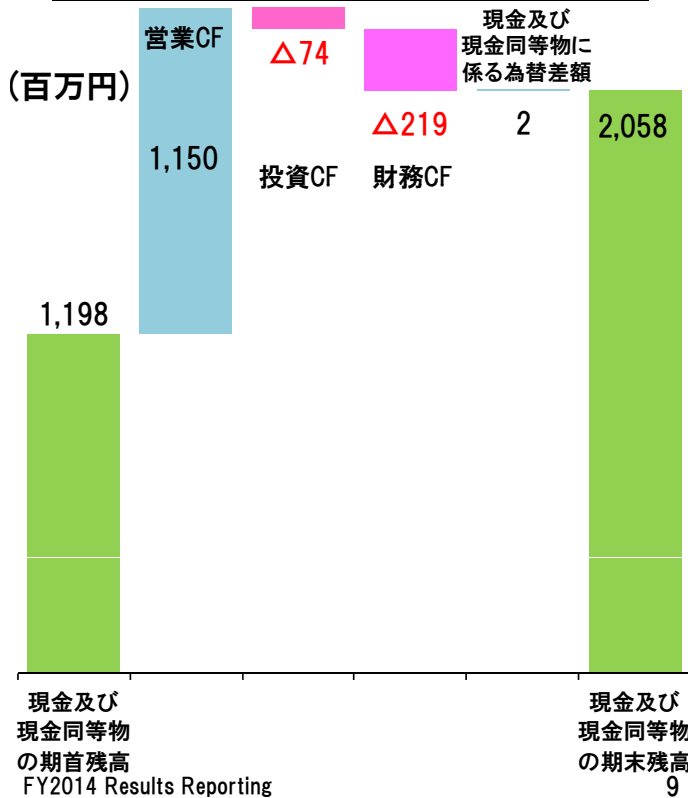


連結貸借対照表の状況

	(百万円)	2013.12末	2014.12末	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	1,198	2,058	859	債権の流動化により増加
	売上債権	4,562	4,496	△65	
	商品	2,258	3,139	880	売上の拡大に伴い増加
	その他流動資産	2,261	1,765	△495	未収入金が減少
	固定資産	606	577	△28	
資産合計		10,886	12,037	1,150	
負債純資産内訳	仕入債務	759	784	25	
	短期借入金	880	780	△100	
	その他流動負債	649	1,398	749	未払金が増加
	固定負債	323	325	1	
	純資産	8,274	8,748	474	
負債・純資産合計		10,886	12,037	1,150	

連結キャッシュ・フローの状況

2014年12月期のキャッシュフローの動き

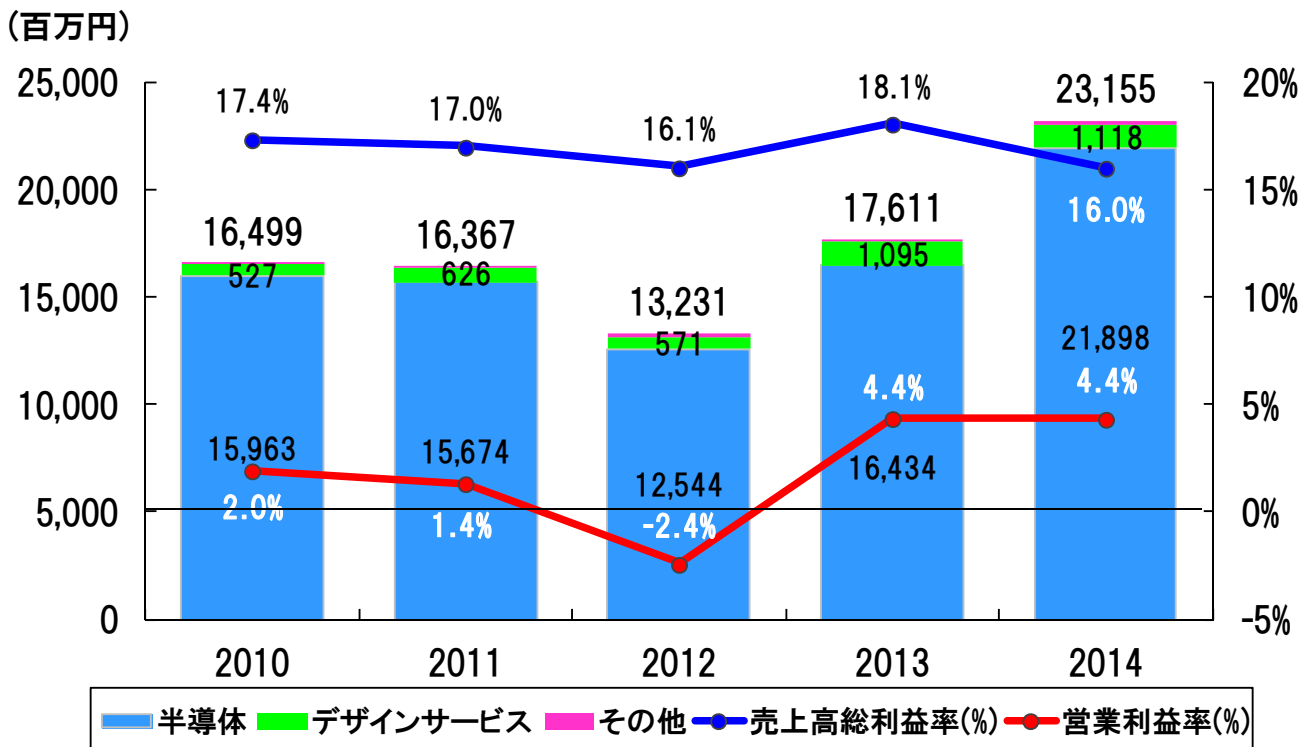


(百万円)	2013年12月期	2014年12月期
現金及び現金同等物の期首残高	1,739	1,198
営業CF	△1,414	1,150
投資CF	△43	△74
財務CF	918	△219
現金及び現金同等物の期末残高	1,198	2,058

2014年12月期のキャッシュフローの動き

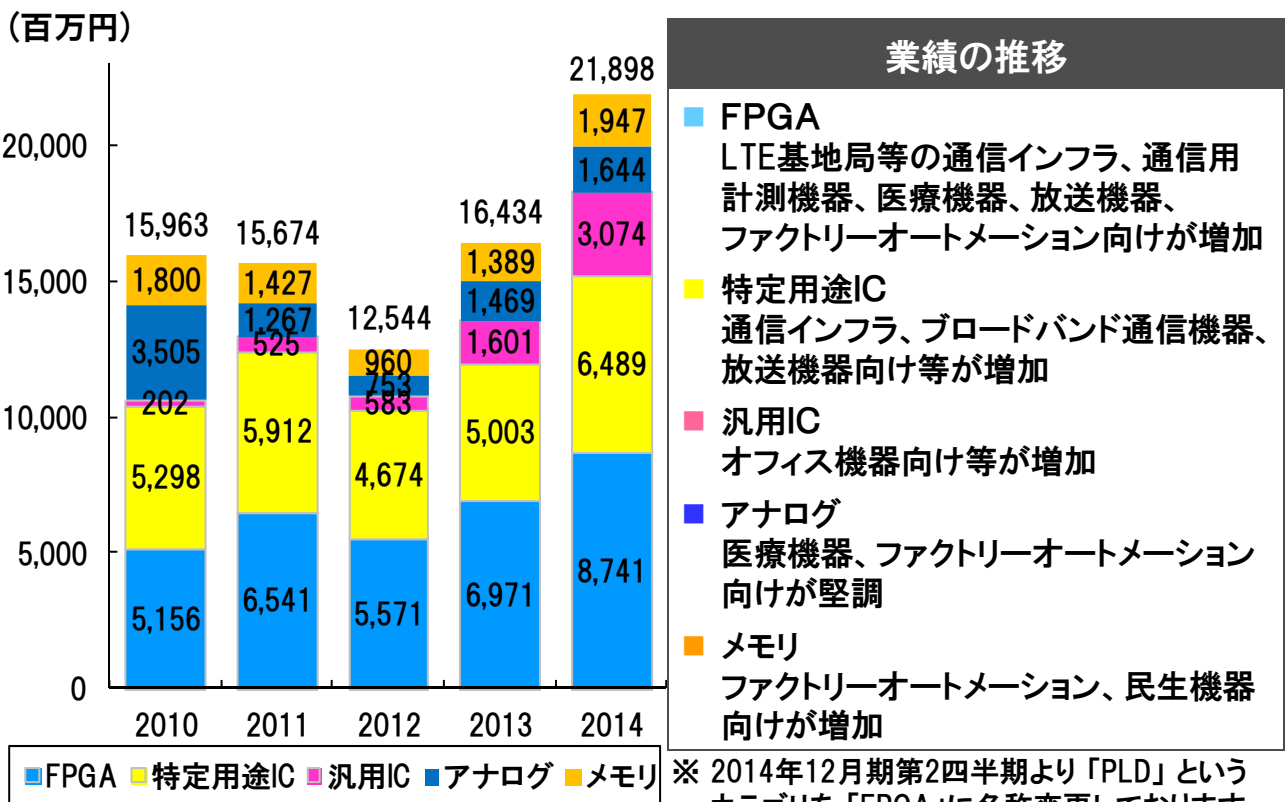
- 営業CF: たな卸資産が増加した一方、未収入金が減少したこと等により収入
- 投資CF: 投資有価証券の取得、子会社テクノロジー・イノベーションで事業譲受したこと等により支出
- 財務CF: 配当金の支払、借入れの返済等により支出

連結業績推移



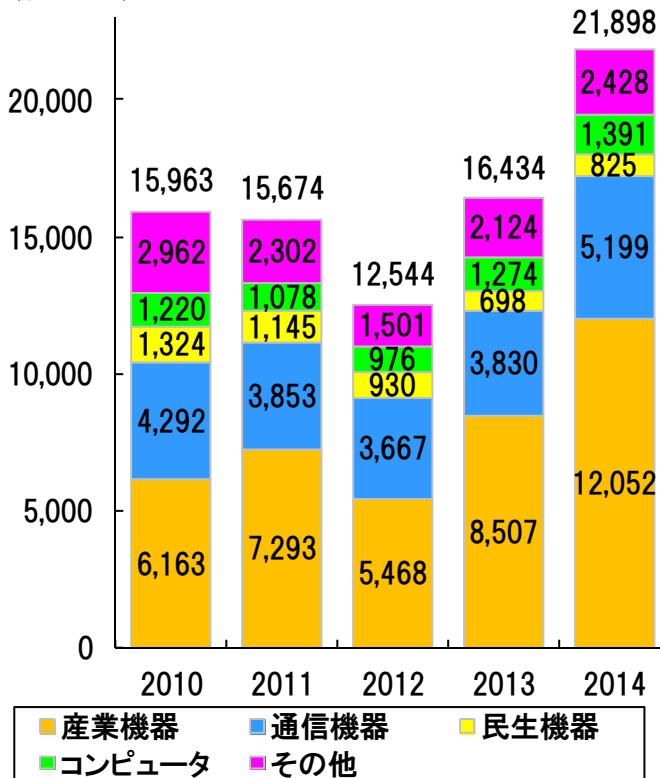
事業別の実績

半導体事業の状況（製品別）



半導体事業の状況（用途別）

(百万円)

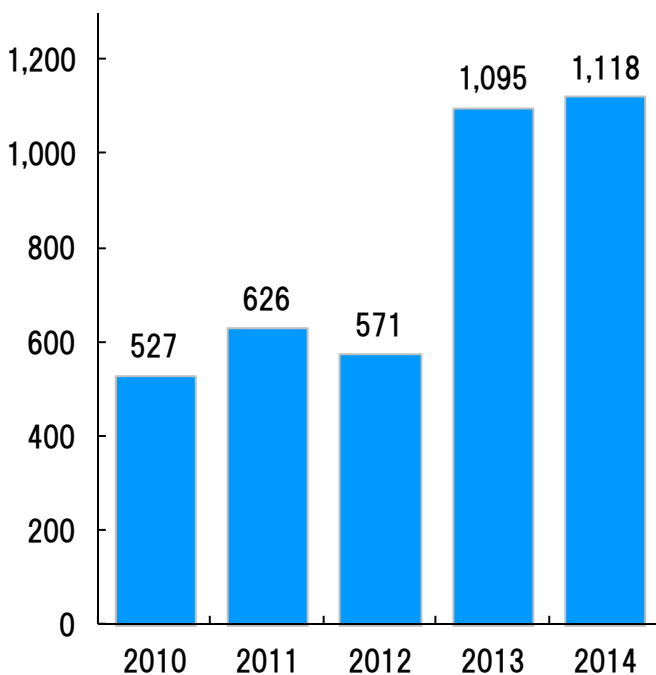


業績の推移

- **産業機器**
 計測機器、オフィス機器、医療機器、ファクトリーオートメーション、放送機器向けが大幅に増加
- **通信機器**
 LTE基地局等の通信インフラ、ブロードバンド通信機器向けが増加

デザインサービス事業の状況

(百万円)



業績の推移

- **医療機器向けが堅調に推移**
- 2014年度においては、子会社のエクスペローラにおいて、自社製品の開発に人員を投入したため、売上高は前年とほぼ変わらず

2

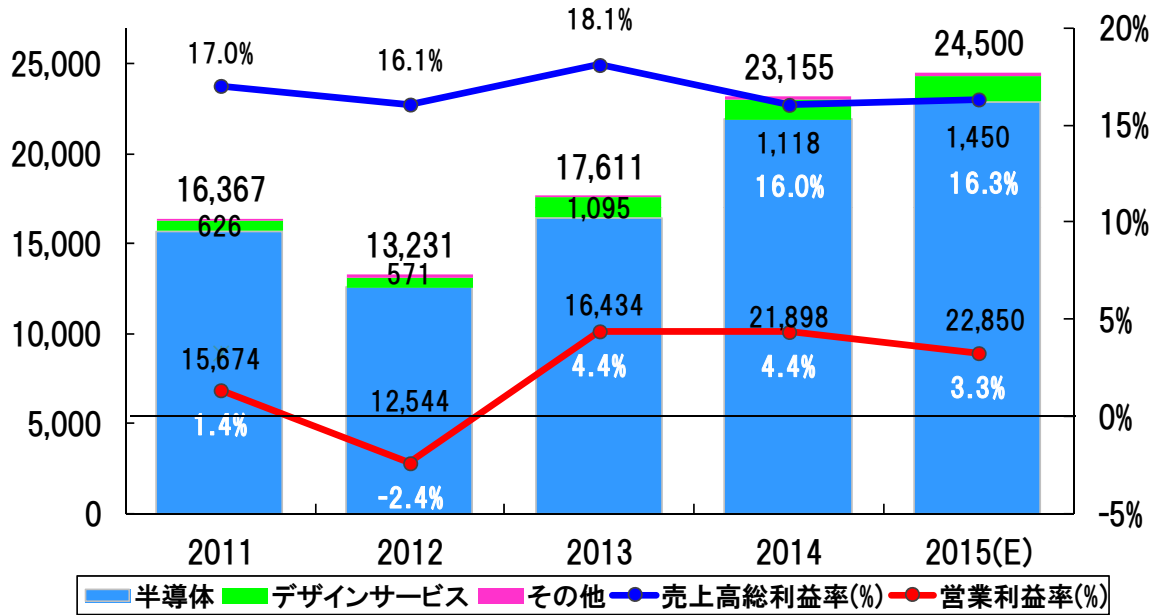
2015年12月期 業績予想

2015年12月期 業績予想

(百万円)	2014年12月期 実績			2015年12月期 予想			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	11,677	11,478	23,155	11,700	12,800	24,500	1,344	5.8%
売上総利益	1,653	2,059	3,713	1,900	2,100	4,000	286	7.7%
売上総利益率	14.2%	17.9%	16.0%	16.1%	16.5%	16.3%	0.3%	—
販管費	1,235	1,469	2,704	1,550	1,650	3,200	495	18.3%
営業利益	418	590	1,008	350	450	800	△208	△20.7%
営業利益率	3.6%	5.1%	4.4%	2.7%	3.8%	3.3%	△1.1%	—
経常利益	389	663	1,052	360	430	790	△262	△25.0%
当期純利益	228	334	563	230	270	500	△63	△11.2%

業績見通しの推移(連結)

(単位:百万円)

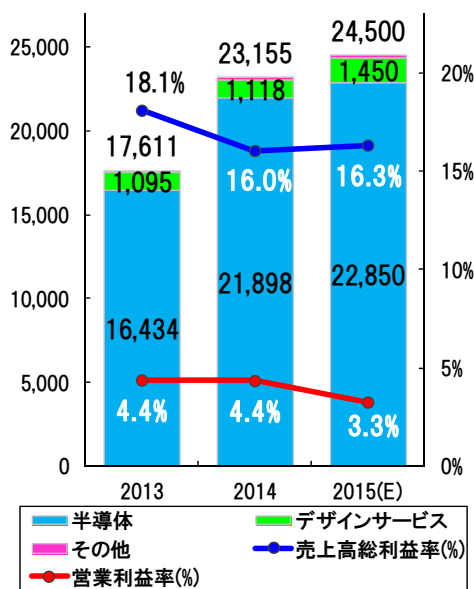


- 売上高 : 半導体事業、デザインサービス事業がともに増加
- 売上総利益率 : デザインサービス事業の売上比率が高まるため上昇
- 営業利益率 : 販管費の増加等により低下

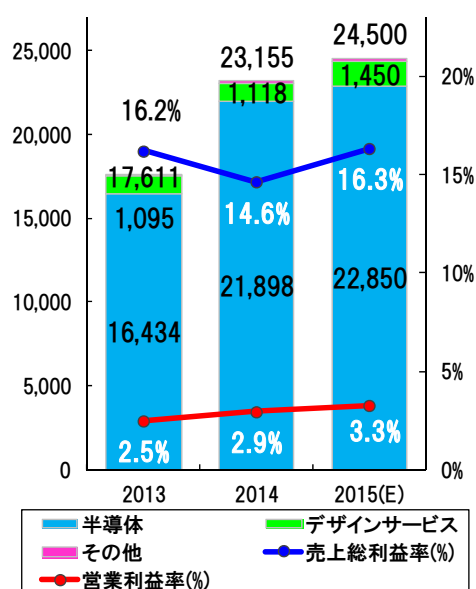
為替の影響を除いた場合の業績予想比較

- 2013年12月期、2014年12月期では、円安進行により仕入値引ドル建債権の評価額が大幅に増加。原価を押し下げる要因となった
- この評価額の増加を含む為替の利益に与える影響を排除した場合、2015年12月期については実力値ベースでは増益となる

為替の影響を除かない場合



為替の影響を除いた場合



配当方針

- 利益配分については、経営基盤の強化や将来の事業展開を考慮し、適正に配分
- 配当金については、安定的な配当を維持しながら、業績に対する配当性向を勘案

配当金

- 上記配当方針に基づき、期末配当金は、1株8円を予定

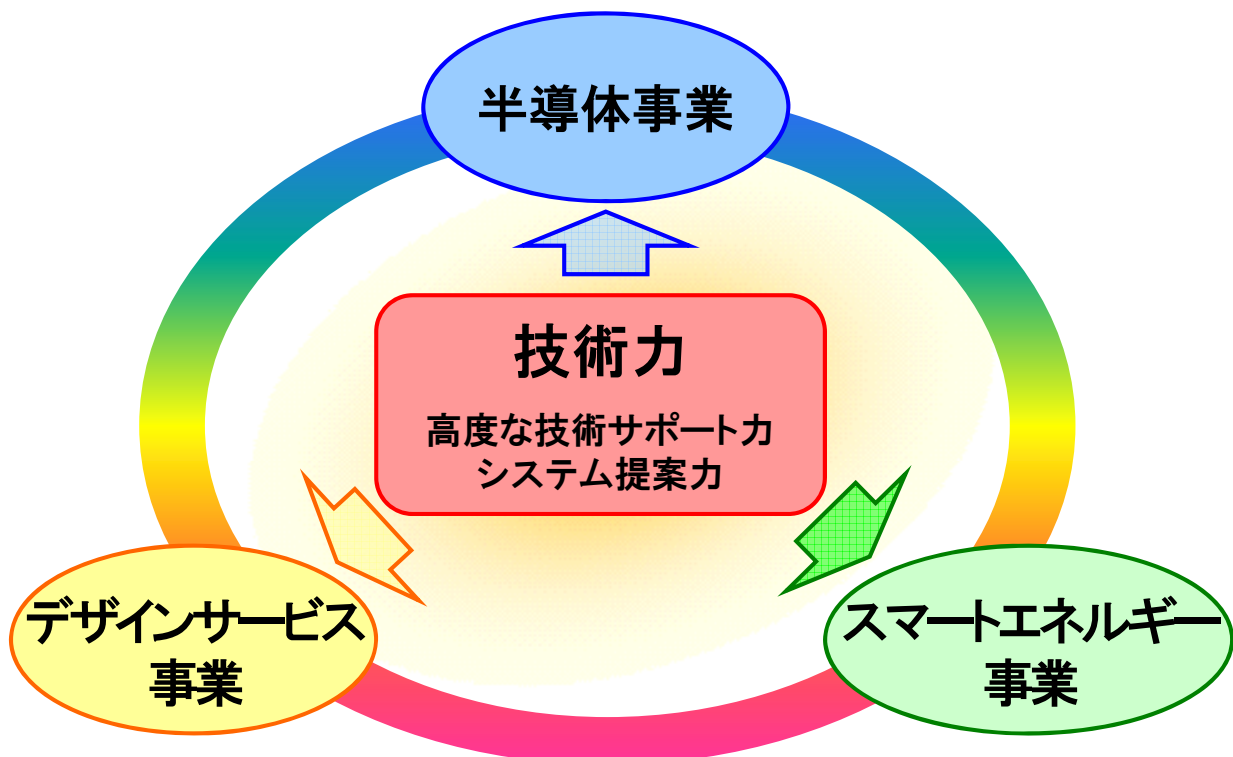
自己株式取得について

- 2015年2月12日開催の取締役会において、自己株式の取得を決議
 - 取得株式数 : 600,000株(上限)
発行済株式数に対する割合 5.25%
 - 取得価額総額 : 3億円(上限)
 - 取得期間 : 2015年2月13日～2015年3月24日
 - 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付け
(ToSTNeT-3を含む)

3

今後に向けた取り組み

PALTEKの事業分野



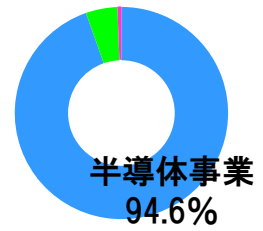
2014年12月期売上構成比

■ 事業の方向性

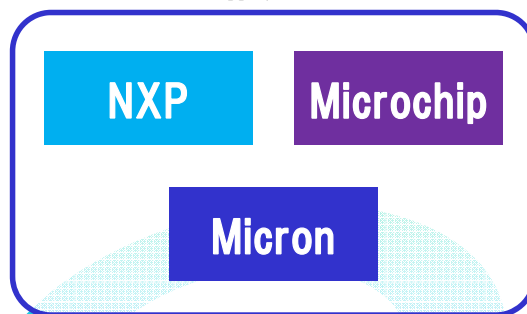
- ・ 安定的に収益を確保する事業を目指す

■ 戦略

- ・ 付加価値高い製品の取り扱い
- ・ FPGA市場の更なる拡販/拡大
- ・ センサー/ソフトウェア市場の開拓
- ・ デマンド・クリエーションの強化
- ・ 成長市場: 医療、産業、通信、放送への注力



【汎用IC・メモリ】幅広いマーケットに訴求



【FPGA】システム提案強化



【特定用途IC/ソフトウェア】
有望プロダクトを強化





中核製品であるFPGAの更なる拡販

- 営業効率の向上
- 新規中小顧客の拡大
- 付加価値提案の実施(トータルソリューション提案)
 - 新製品の提案/販売力の強化
 - XILINX UltraScale (20nm製品) 大規模/高速 FPGA
 - 通信機器
 - LTE-Advanced → 5G
 - 放送機器
 - 4K / 8K

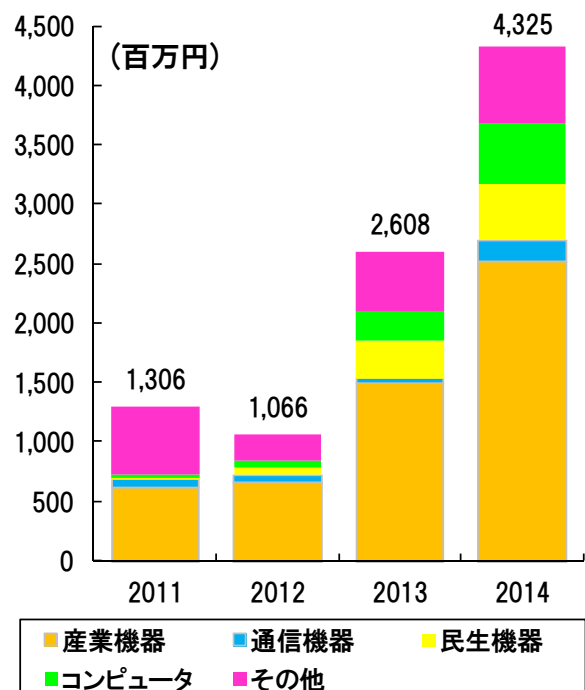
今後、高画質動画配信などの大容量データを高速通信により配信。通信・放送市場の拡大が想定される



第2の柱となる製品の立上げ

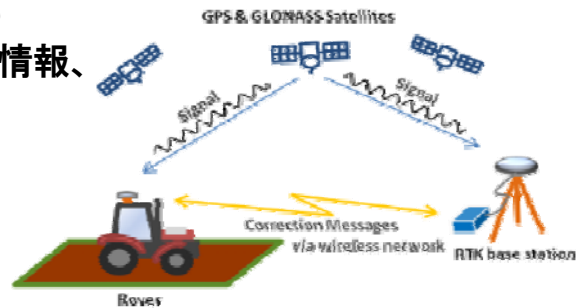
- 第2の柱となる製品は産業分野を中心に顧客拡大継続
- オフィス機器
- 産業機器
- 医療機器
- データセンター
- 携帯情報端末

第2の柱となる4製品の売上推移



■ マゼランシステムジャパン(株)と総代理店契約を締結

- 超高感度・高精度衛星システム製品の販売/サポート
 - 産業機器、農業機器、ロボット等の自動運転において、高精度の位置情報、速度、及び姿勢情報を提供



■ セーフネット社製品の取扱いを開始

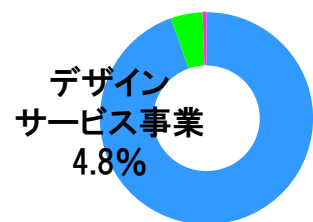
- Sentinel セキュリティー関連のソフトウェア販売/サポート
 - 暗号化によるソフトウェアの著作権保護
 - ライセンス管理による収益化



■ 事業の方向性

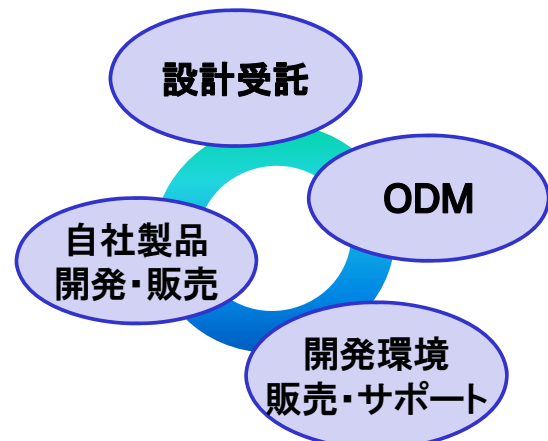
- 日本メーカーが得意とする医療、放送等の産業分野、通信分野の開発をサポートし、付加価値の高い製品・サービスを提供

2014年12月期売上構成比



■ 戦略

- 設計受託の強化
- ODMの更なる展開
- 自社製品開発・販売
- 開発環境販売・サポート (ツール、評価ボードの販売等)



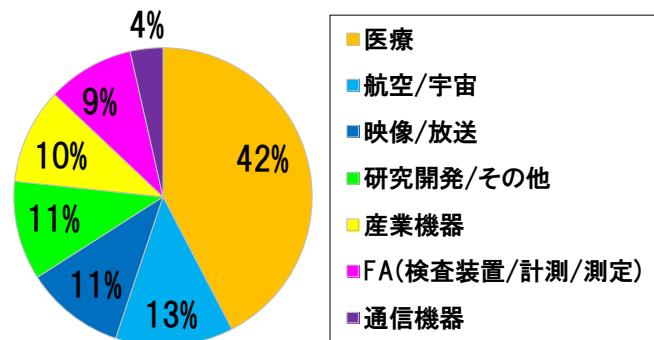
■ 設計受託の強化

- 基板/ソフトウェアを含めた開発案件増
- エクスプローラ 札幌デザインセンターを開設
 - 開発人員の増強、ソフト開発力の強化

■ 医療分野が40%以上を占める

- 次世代内視鏡の開発
- MRI/CTスキャナ向けエンジンボードの提供

用途別売上構成(2014年)



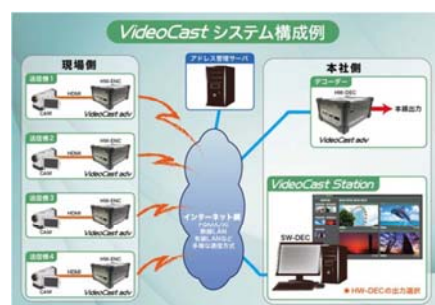
■ 現在、医療分野を中心にODMを展開

- 医療関係の案件:17プロジェクト
- その他:通信機器/産業機器

【例】フジテレビジョン向けH.264小型ライブ中継伝送装置

- フジテレビと「小型ライブ中継伝送装置」を共同開発。フジテレビブランドで販売。エクスプローラでも自社製品としても販売
- 手のひらサイズの小型、軽量H.264コーデック装置
- 簡易生中継や、通常の中継車では困難な場所などで活用

ハードウェア エンコーダ・デコーダ
「VideoCast Advance」



【NEDOのイノベーション実用化ベンチャー支援事業】

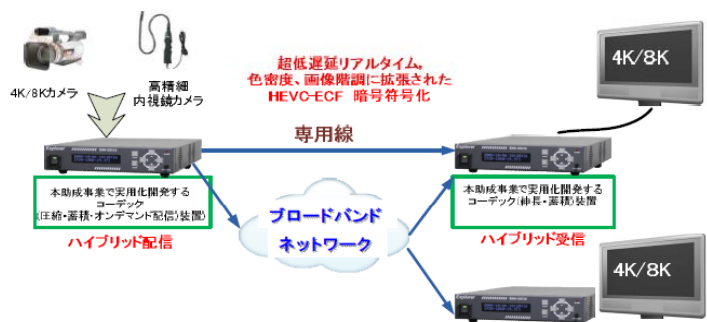
■ レート制御機能搭載4K対応H.265コーデック装置の開発

- 顧客への販売を開始
- 顧客の要望によりカスタマイズ対応を実施



■ 超低遅延8K対応HEVC-ECFによるハイブリッド配信装置開発

- 現在開発を継続中。製品化は、2016年9月を予定
- NEDOからの助成期間:
2014年5月14日から
2015年2月28日
- ターゲットは医療分野

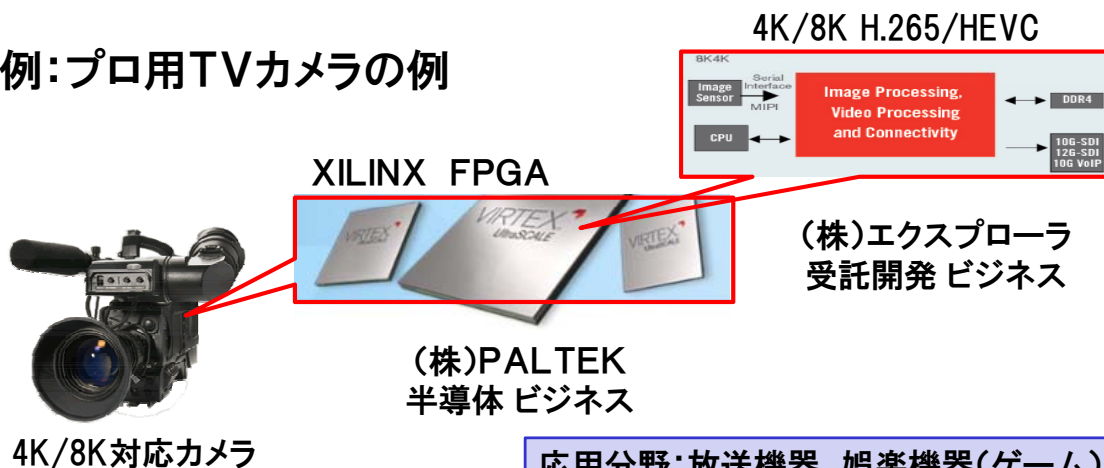


FY2014 Results Reporting

■ 半導体ビジネス/受託設計への相乗効果

- 4K/8K H.265/HEVC コア技術をベースに、設計開発を受託
- PALTEKの取扱商材を用いて開発することで、半導体の販売にも展開

例:プロ用TVカメラの例

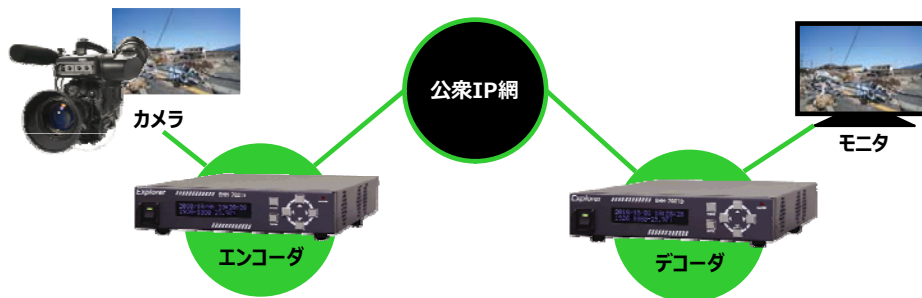


応用分野:放送機器、娯楽機器(ゲーム)、医療機器、産業機器(監視カメラ)

■ NHKと「H.264 HD対応 IP蓄積伝送装置」を共同開発

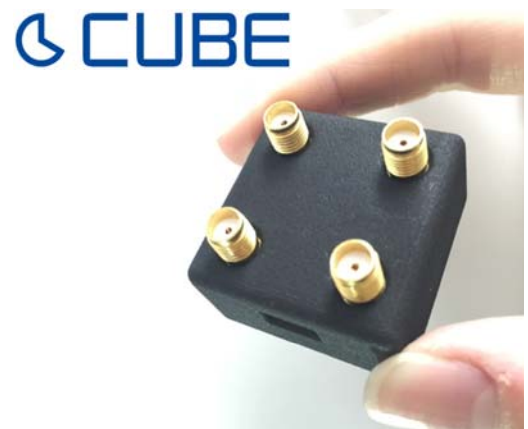
- 火山噴火口や土砂流、川の水位、地震、津波等の監視を行う情報カメラで収録した映像を、有事の際の映像を瞬時に活用することが可能
- 地震速報等をトリガーに、ストレージに蓄積した映像を自動的に放送局に伝送

H.264 HD対応 IP蓄積伝送装置(エンコーダ、デコーダ)

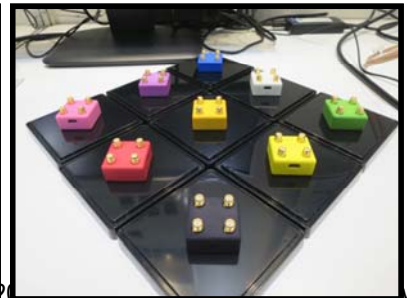
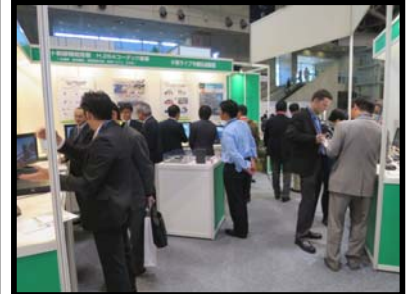


■ 超小型信号発生器「Clock CUBE」を開発

- 指先サイズの超小型信号発生器
 - 大きさ 33mm×33mm×16mm、重さ 19g
- ハードウェアの設計開発の際に必ず必要となる精度の高いクロック信号を発生
- スマートフォンからUSB給電が可能で、AC電源不要
- スマートフォンアプリで周波数の操作が可能



- 2014年11月19日～21日に、国際放送機器展に出展
- NHK、フジテレビをはじめ、各放送局の方に来場いただき、4K対応H.265コーデックをはじめ、小型ライブ伝送装置に多くの反響をいただきました



FY201

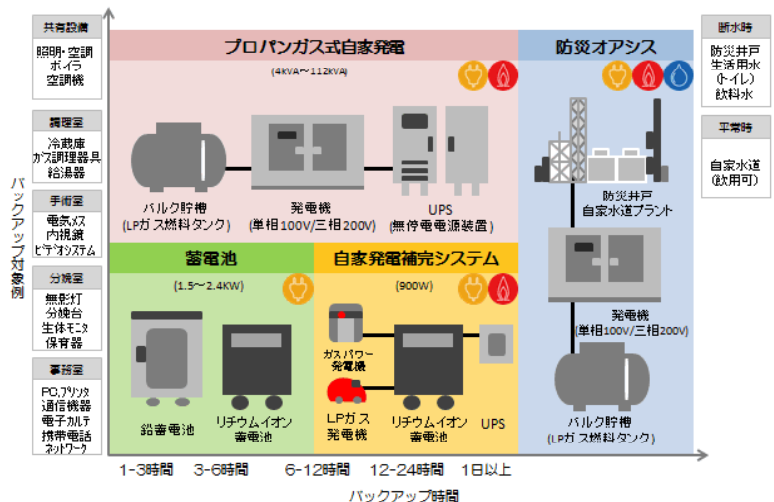
red.

■ 事業の方向性

- ・ スマートエネルギーソリューションの開拓・販売を通じて、エネルギー面からの持続可能な社会構築に貢献する

■ 戦略

- ・ 長時間(72時間以上)提供可能な病院向け停電対策システムの構築および販売
- ・ ニーズに基づいた新製品ソリューションの構築



■ 医療法人勝心会 芳賀クリニック（愛知県）

- 導入の背景
 - 災害時も地域住民や患者様の診療をできるよう発電機の導入を検討
- 導入の結果
 - LPガス発電機を導入し、停電時にも、受付、待合室、診察室、検査室等の照明や電子カルテ、ネットワーク機器の電力を確保



設置した自家発電機とLPガスバルクタンク
(設置:ガステックサービス株式会社)

■ 医療法人岡山奏和会 撫川クリニック（岡山県）

- 導入の背景
 - もともと災害時の停電対策として蓄電池を備えていたが、数時間程度の電力バックアップしかなく不安であったため。防災能力を強化したい
- 導入結果
 - LPガス発電機を導入し、停電時に85時間以上電力をバックアップでき、手術室・分娩室・培養室・厨房の使用が可能に



クリニック外観



屋上設置プロパンガス発電機(9kVA)



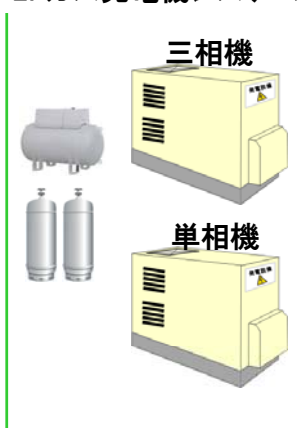
バルク貯槽(500KG)

F

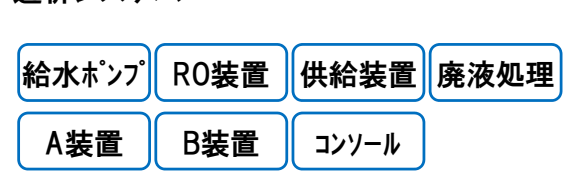
■ 透析システムに関する停電対策を提供開始

- 透析システムは非常に多くの電力を要するため、停電は人工透析を行う患者には死活問題
- LPガス発電機システムを活用することで、電気と温水の供給が可能となり、安心・安全に透析の継続が可能

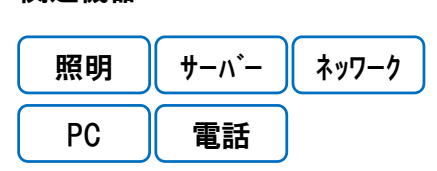
LPガス発電機システム



透析システム



関連機器



ご清聴ありがとうございました。

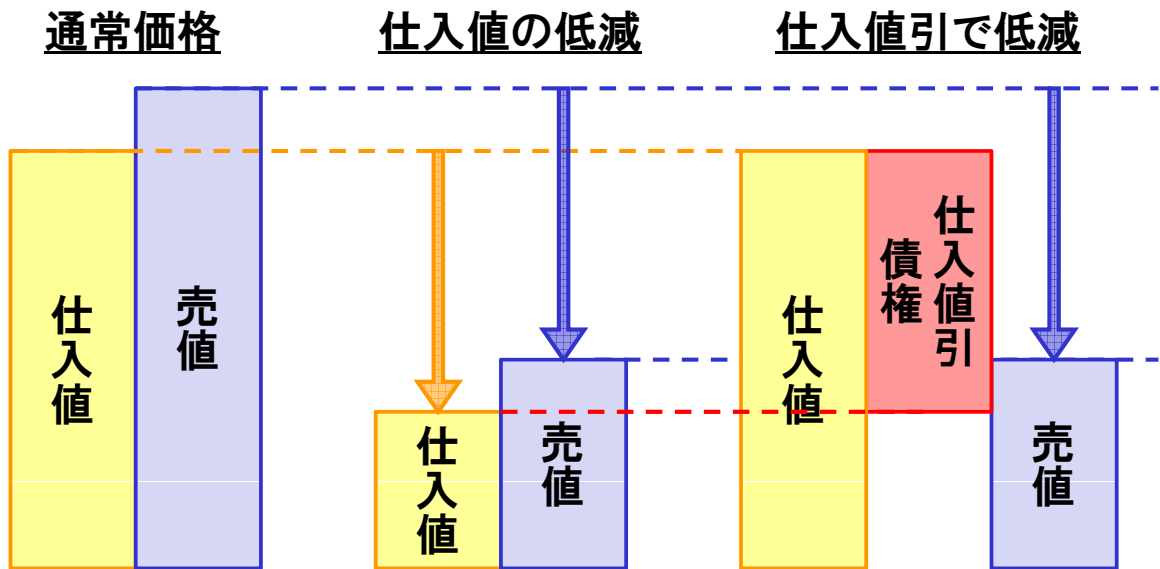
参 考 資 料

(百万円)	2014年12月期 実績			2015年12月期 業績予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
半導体	11,009	10,889	21,898	10,870	11,980	22,850
FPGA	4,268	4,473	8,741	4,500	5,500	10,000
特定用途IC	3,347	3,142	6,490	3,200	3,100	6,300
汎用IC	1,589	1,484	3,074	1,320	1,400	2,720
アナログ	870	774	1,644	850	980	1,830
メモリ	932	1,014	1,947	1,000	1,000	2,000
デザインサービス	602	515	1,118	750	700	1,450
その他	66	73	139	80	120	200
売上高合計	11,677	11,478	23,155	11,700	12,800	24,500
営業利益	418	590	1,008	350	450	800

- 仕入値引債権とは
- 仕入値引債権の評価額変動リスク
- 調達在庫のレート変動リスク
- 決済時ドル調達レート変動リスク

仕入値引債権とは

- 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
- その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
- その実現方法には、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」の2パターンがある



FY2014 Results Reporting

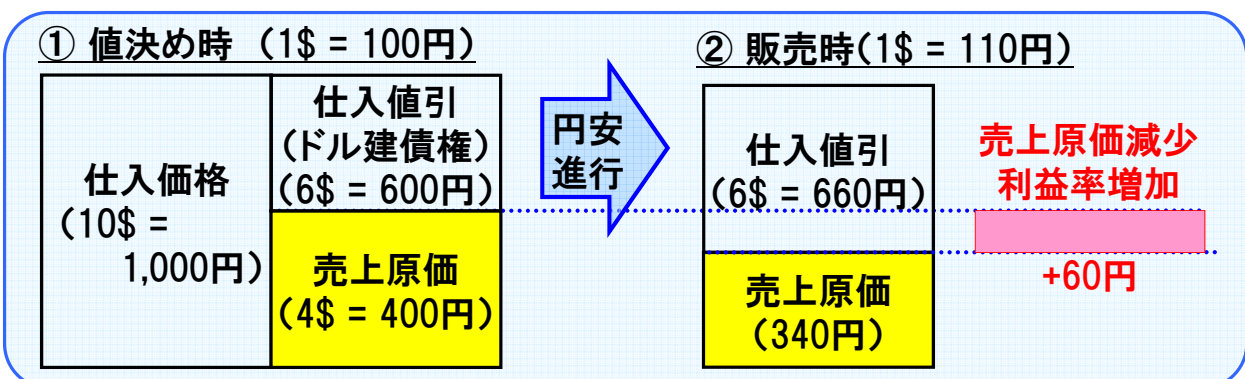
43

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

仕入値引債権の評価額変動リスク

- ① 値決め : 量産案件では、標準仕入価格を下回る特別価格を適用することがある
- ② 販売 : 販売時に仕入値引(ドル建債権)を受け取る。値決め時よりも円安が進行している場合、仕入値引のドル建債権の評価額が増加

➡ **売上原価減少 → 利益率増加**



FY2014 Results Reporting

44

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

売上原価増加 → 利益率減少

① 値決め時 (1\$ = 100円)

利益 (2\$ = 200円)	売値 (10\$ = 1,000円)
売上原価 (8\$ = 800円)	

円安進行

② 仕入⇒販売時(1\$ = 110円)

利益 120円
売上原価 (8\$=880円)

売上原価増加
利益率減少

-80円

① 仕入時 (1\$ = 100円) ② 販売・支払時(1\$ = 110円)

仕入 (8\$ = 800円)

円安進行

仕入値引債権 (6\$=660円)

支払対象額
(2\$=140円)

CASH
(2\$=220円)

決済差額

-80円

開示区分	内容説明
半導体事業	半導体及び関連製品の販売、技術支援
FPGA	ザイリンクス社のFPGAを中心とするソリューション
特定用途IC	特定用途に特化した半導体を中心とするソリューション (例:通信向け、インタフェース向け、携帯端末向け等)
汎用IC	NXPセミコンダクターズ社、マイクロチップテクノロジー社等の汎用ICを中心とするソリューション
アナログ	リニアテクノロジー社等のアナログ半導体を中心とするソリューション
メモリ	マイクロンテクノロジー社等のメモリを中心とするソリューション
デザインサービス事業	受託開発、ODM/EMS/OEM、自社製品の販売
その他	上記のカテゴリに属さないソリューション

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

お問い合わせ先

株式会社PALTEK IR担当 柴崎 由記

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL :045-477-2016

E-mail :ir@paltek.co.jp